

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第21週 （5月22日～5月28日）

★お知らせ

○手足口病に気を付けて！

2週連続、須崎で警報値である5.00を超えています。

定点医療機関当たりの報告数は第20週の0.83から第21週では1.07と増加しています。中央東、中央西で急増、須崎で増加し警報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報でも手足口病の増加が報告されています。

全国でも定点医療機関当たりの報告数は第13週以降増加が続いているために注意が必要です。

手足口病は、4歳くらいまでの幼児を中心に夏季に流行が見られる疾患であり、2歳以下が半数を占めますが、学童でも流行的発生がみられることがあります。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

この病気は、通常は3～5日の潜伏期をおいて、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができ、時に肘、膝、臀部などにも出現します。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。

回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けましょう。特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第20週の3.80から第21週では4.57と増加しています。県全域から報告があり、高知市、須崎、中央西で増加しています。

定点医療機関からのホット情報ではロタウイルス24例の報告があり、基幹定点からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）が13例報告されるなど、ロタウイルスの報告が増加しています。また、カンピロバクター属菌やサルモネラ属菌など細菌を原因とする胃腸炎3例の報告や、感染性胃腸炎は多いとの報告もあります。

学校等欠席者・感染症情報システム※でも13例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

ロタウイルス感染性胃腸炎とは、例年、3月～5月にかけて乳幼児を中心に流行するロタウイルスによる胃腸炎で、主な症状は、水のような下痢、吐き気、嘔吐（おうと）、発熱、腹痛です。脱水症状がひどくなると点滴が必要となったり、入院が必要になることがあります。脱水を防ぐための水分補給や体力を消耗したりしないように栄養を補給しましょう。

予防には手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。また、便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

また、ロタウイルスによる感染症の予防対策には予防接種があり、乳幼児を中心に受けることができますので、かかりつけの医療機関にご相談ください（任意接種）。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。これら細菌による感染性胃腸炎の予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（①つけない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））を励行しましょう。

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第20週の1.80から第21週では2.20と増加しています。幡多、須崎、中央東、中央西で増加しています。

学校等欠席者・感染症情報システム※でも12例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことに

よる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。症状は1週間以内に消失する予後良好の疾患ですが、まれに重症化し猩紅熱に移行する場合があります。合併症には肺炎、髄膜炎、肺血症などがありますので、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第20週の0.25から第21週は0.44と増加しています。県全域では第19週に流行の目安である1.00を下回り非流行期となりましたが、中央西は1.40と急増、幡多では1.50と増加しています。

迅速検査では、インフルエンザA型が38.1%、B型61.9%とB型の割合が高くなっています。

まだ患者報告は続いているので外出後の手洗い等の感染予防を心がけましょう。

症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

☆山や草むらでの野外活動の際にはマダニに注意！

今年初めてSFTS（重症熱性血小板減少症候群）の発生届けが5月30日に1例ありました。

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

キャンプ、ハイキング、登山、ゴルフ、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。この時期、野山に生息するマダニに刺されることで感染症を起こすことがあります。

全てのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、これらのマダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。（予防するためのワクチン等はありません。）

野山や畑、草むら等に出かける時には長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を使用する等して、効果的な対策を自ら取ることが大切です。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（マダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

●高知県衛生研究所 マダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

●高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

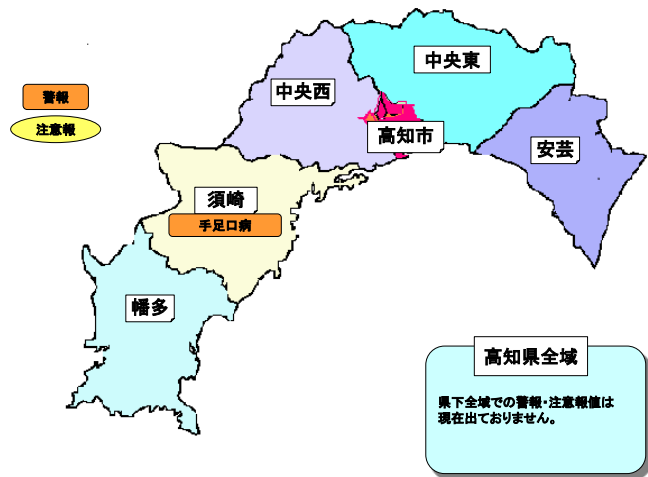
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減
 21週（5月22日～5月28日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	↗	4.57	県全域、高知市、須崎、中央西で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	2.20	県全域、幡多、須崎、中央東、中央西で増加しています。
手足口病	↗	1.07	幡多では急減していますが、中央東、中央西で急増、県全域、須崎で増加し、須崎では警報値を超えています。
水痘	→	0.60	幡多、中央西で急減、高知市では減少していますが、中央東で急増しています。
インフルエンザ	↗	0.44	中央西で急増し、県全域、幡多では増加しています。

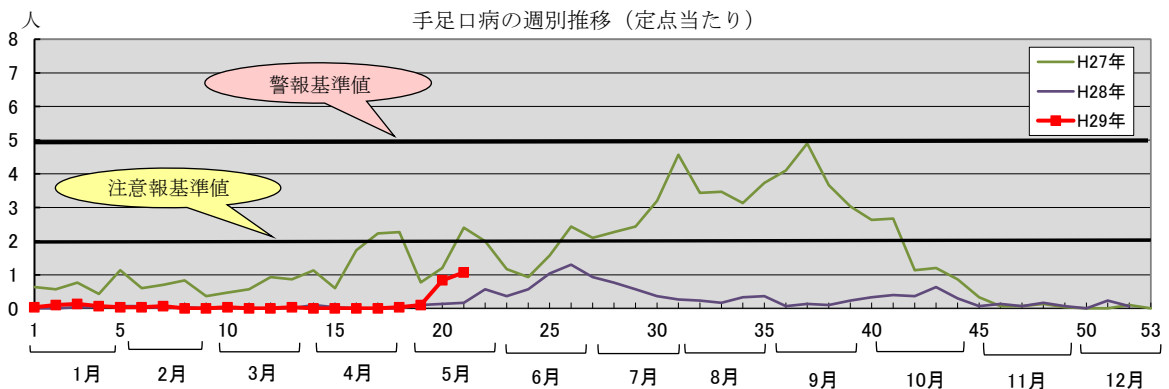
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

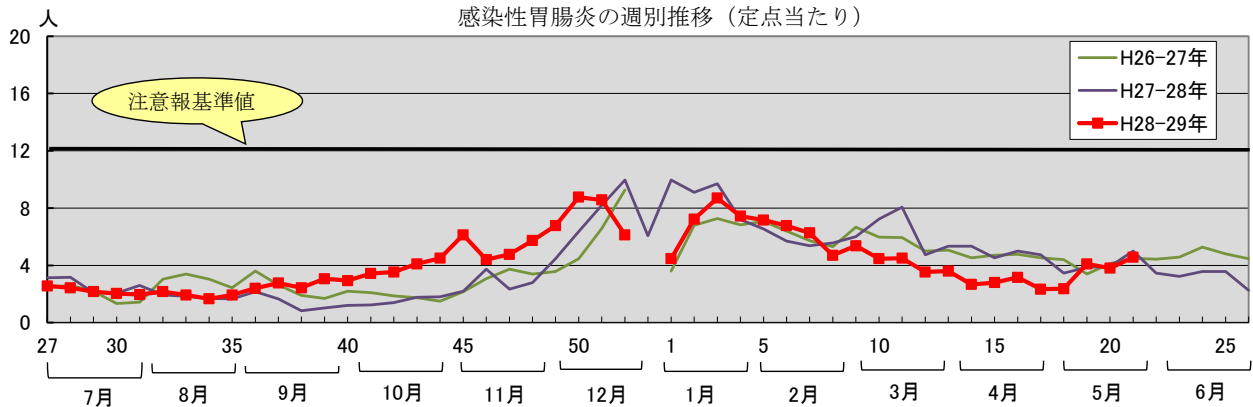
○手足口病 第21週：1.07（注意報値：2.00 警報値：5.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり1.07（前週：0.83）と増加しています。幡多0.00（前週：0.20）では急減していますが、中央東0.86（前週：0.14）中央西0.33（前週：0.00）で急増、須崎7.00（前週：5.50）で増加し警報値を超えています。年齢別にみると、全ての患者が3歳以下になっています。



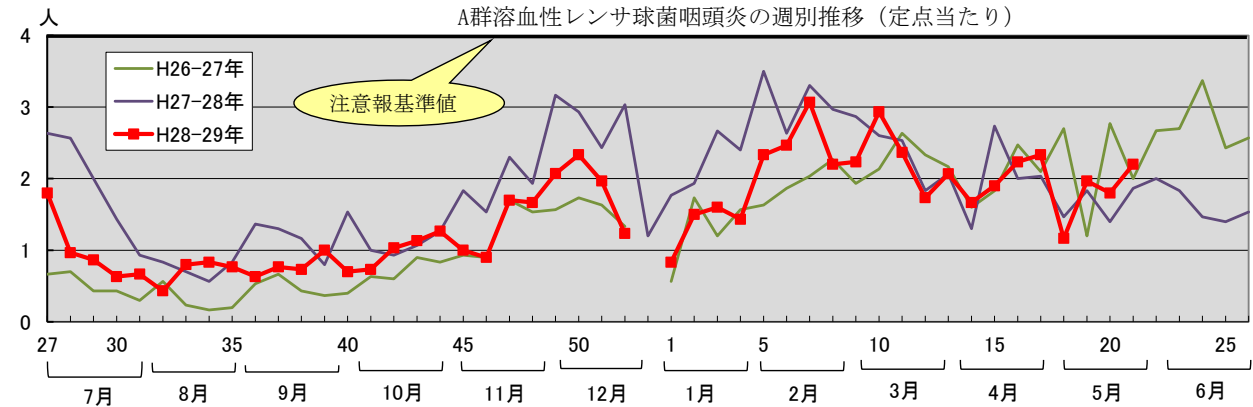
○**感染性胃腸炎 第21週：4.57（注意報値：12.00 警報値：20.00）**

定点医療機関からの報告数は定点当たり4.57（前週：3.80）と増加しています。高知市6.64（前週：4.91）須崎2.00（前週：1.50）中央西1.00（前週：0.67）で増加しています。



○**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第21週：2.20（注意報値：4.00 警報値：8.00）**

定点医療機関からの報告数は定点当たり2.20（前週：1.80）と増加しています。幡多3.60（前週：2.80）須崎2.00（前週：1.50）中央東1.43（前週：0.86）中央西1.33（前週：1.00）で増加しています。



※グラフの途切れについて
 H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。
 そのため、H26-H27年とH28-H29のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★**病原体検出情報**

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
21	インフルエンザ	38℃,上気道炎,	7	男	幡多	Influenza virus B/Yamagata
21	急性気管支炎	39℃,咳漱,気管支炎,	7ヶ月	男	高知市	Parainfluenza virus 3

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
19	喘息様気管支炎、感染性胃腸炎	40℃,嘔吐,嘔気,下気道炎,	11ヶ月	男	中央東	Adenovirus 41
19	感染性胃腸炎	40℃,発疹,結膜炎,	1	女	高知市	Human herpes virus 6
19	無菌性髄膜炎	38℃,嘔吐,嘔気,	12	男	高知市	Human herpes virus 6 Human herpes virus 7

★**全数把握感染症**

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	35	60歳代 男	中央西
5類	梅毒	1	9	30歳代 男	高知市
	ウイルス性肝炎	1	2	60歳代 男	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	3	80歳代 女	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	6	70歳代 男	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	hMP気管支炎1例(2歳女)
中央東	野市中央病院小児科	アデノウイルス腸炎1例(5ヶ月男)
	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎2例(4歳女、9歳男) ロタウイルス感染性胃腸炎2例(1歳男、2歳男) 溶連菌感染症5~7歳土佐町で急増
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎6例(0歳1人、1歳5人) ロタウイルス腸炎6例(1歳、3歳2人、6歳2人、7歳) カンピロバクター腸炎1例(16歳)
	高知医療センター小児科	アデノウイルス1例(2歳男) ロタウイルス1例(1歳男) サルモネラ1例(14歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症7例 水痘3例(2名はワクチン済み(1回)) 感染性胃腸炎は多い 咽頭結膜熱1例(1歳女)
	細木病院小児科	ロタウイルス10例(2ヶ月、1歳、2歳、3歳、6歳男 1歳2人、3歳、5歳、7歳女) キャンピロ1例(3歳男)
	三愛病院小児科	アデノウイルス感染症1例(1歳男)
	国立病院機構高知病院小児科	ロタウイルス胃腸炎2例(5ヶ月男、4歳女)
中央西	石黒小児科	帯状疱疹1例(7歳女) インフルエンザB型1例
	くぼたこどもクリニック	インフルエンザA型5例 (6歳男、8歳女、9歳男、13歳女2人)
	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎3例(10ヶ月女、3歳男2人) マイコプラズマ肺炎1例(3歳男)
須崎	もりはた小児科	滲出性扁桃炎(Adeno)3例(1歳2人、2歳1人) 感染性胃腸炎(ロタ)1例(3歳男) マイコプラズマ肺炎1例(10歳女) 帯状疱疹1例(8歳男)
	大西病院小児科	手足口病増加中
幡多	さたけ小児科	ロタウイルス2例(2歳男、4歳女)
	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎1例(8歳男)

★全国情報

第19号(5月8日~5月14日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核355例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症25例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎12例、A型肝炎11例、重症熱性血小板減少症候群8例、つつが虫病8例、
デング熱3例、日本紅斑熱2例、レジオネラ症26例

5類感染症：アメーバ赤痢15例、ウイルス性肝炎5例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症21例
急性脳炎9例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症12例
後天性免疫不全症候群14例、侵襲性インフルエンザ菌感染症8例、侵襲性肺炎球菌感染症83例
水痘(入院例に限る)6例、梅毒93例、麻しん3例

報告遅れ：細菌性赤痢2例、E型肝炎1例、エキノコックス症2例、デング熱1例、日本紅斑熱2例、
マラリア1例、レジオネラ症5例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症14例、急性脳炎5例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、水痘(入院例に限る)2例、梅毒42例、
播種性クリプトコックス症1例、麻しん1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第21週 平成29年5月22日(月)～平成29年5月28日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第21週							計	前週	全国(20週)	高知県(21週未累計) H29/1/2～H29/5/28	全国(20週未累計) H29/1/2～H29/5/21
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市					
インフルエンザ*	インフルエンザ				2	7		12	21 (0.44)	12 (0.25)	5,184 (1.05)	14,618 (304.54)	1,348,440 (272.08)	
小児科	咽頭結核膜炎		1		8			1	10 (0.33)	10 (0.33)	2,047 (0.65)	145 (4.83)	24,245 (7.67)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			10	30	4	4	18	66 (2.20)	54 (1.80)	10,034 (3.17)	1,261 (42.03)	143,700 (45.43)	
	感染性胃腸炎	16	28	73	3	4	13	137 (4.57)	114 (3.80)	23,094 (7.30)	3,000 (100.00)	375,291 (118.65)		
	水痘		7		8		1	2	18 (0.60)	18 (0.60)	1,118 (0.35)	272 (9.07)	22,852 (7.22)	
	手足口病		6		11	1	14		32 (1.07)	25 (0.83)	2,711 (0.86)	77 (2.57)	15,385 (4.86)	
	伝染性紅斑		2					1	3 (0.10)	()	240 (0.08)	74 (2.47)	4,906 (1.55)	
	突発性発疹		2		6	1	2	1	12 (0.40)	19 (0.63)	1,805 (0.57)	220 (7.33)	26,772 (8.46)	
	百日咳								()	1 (0.03)	41 (0.01)	15 (0.50)	495 (0.16)	
	ヘルパンギーナ		4			1		1	6 (0.20)	3 (0.10)	598 (0.19)	13 (0.43)	2,697 (0.85)	
	流行性耳下腺炎		1		2				3 (0.10)	6 (0.20)	1,905 (0.60)	134 (4.47)	38,400 (12.14)	
	RSウイルス感染症								()	2 (0.07)	737 (0.23)	222 (7.40)	16,887 (5.34)	
	眼科	急性出血性結膜炎								()	()	15 (0.02)	()	168 (0.24)
		流行性角結膜炎								()	1 (0.33)	570 (0.82)	9 (3.00)	7,541 (10.87)
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	14 (0.03)	1 (0.13)	205 (0.43)	
	無菌性髄膜炎								()	()	18 (0.04)	3 (0.38)	306 (0.64)	
	マイコプラズマ肺炎				3				3 (0.38)	1 (0.13)	106 (0.22)	59 (7.38)	3,504 (7.35)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	()	3 (0.01)	6 (0.75)	105 (0.22)	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)										232 (0.49)	54 (6.75)	4,029 (8.45)	
計(小児科定点当たり人数)	16 (8.00)	61 (8.72)	156 (12.69)	17 (4.72)	25 (12.50)	49 (8.90)	324 (10.01)			50,472	20,183 (485.64)	2,035,928		
前週(小児科定点当たり人数)	16 (8.00)	41 (5.85)	131 (10.59)	11 (3.53)	27 (13.50)	52 (9.73)		278 (8.64)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第21週							計	前週	全国(20週)	高知県(21週未累計) H29/1/2～H29/5/28	全国(20週未累計) H29/1/2～H29/5/21
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市					
インフルエンザ*	インフルエンザ				0.13	1.40		1.50	0.44	0.25	1.05	304.54	272.08	
小児科	咽頭結核膜炎			0.14	0.73			0.20	0.33	0.33	0.65	4.83	7.67	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1.43	2.73	1.33	2.00	3.60	2.20	1.80	3.17	42.03	45.43	
	感染性胃腸炎	8.00	4.00	6.64	1.00	2.00	2.60	4.57	3.80	7.30	100.00	118.65		
	水痘		1.00	0.73		0.50	0.40	0.60	0.60	0.35	0.35	9.07	7.22	
	手足口病		0.86	1.00	0.33	7.00		1.07	1.07	0.83	0.86	2.57	4.86	
	伝染性紅斑		0.29					0.20	0.10		0.08	2.47	1.55	
	突発性発疹		0.29	0.55	0.33	1.00	0.20	0.40	0.40	0.63	0.57	7.33	8.46	
	百日咳									0.03	0.01	0.50	0.16	
	ヘルパンギーナ		0.57			0.33		0.20	0.20	0.10	0.19	0.43	0.85	
	流行性耳下腺炎		0.14	0.18				0.10	0.10	0.20	0.60	4.47	12.14	
	RSウイルス感染症									0.07	0.23	7.40	5.34	
	眼科	急性出血性結膜炎										0.02		0.24
		流行性角結膜炎									0.33	0.82	3.00	10.87
基幹	細菌性髄膜炎										0.03	0.13	0.43	
	無菌性髄膜炎										0.04	0.38	0.64	
	マイコプラズマ肺炎				0.60				0.38	0.13	0.22	7.38	7.35	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.01	0.75	0.22	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)										0.49	6.75	8.45	
計(小児科定点当たり人数)	8.00	8.72	12.69	4.72	12.50	8.90	10.01				485.64			
前週(小児科定点当たり人数)	8.00	5.85	10.59	3.53	13.50	9.73		8.64						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869